

## 2023年度

### ニチキッズとくぎょう保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月10日（水）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月9日（金）
	実施方法	職員会議にて、話し合いにより全体共用。保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念のもと、おもいっきり遊び、楽しむ中で学びを広げていけるよう、一人ひとりが主体的に活動できる環境設定を行った。子どもの最善の利益を大切に、園内研修にて全職員の学びを深めた。
子どもの発達援助	個々の発達段階を理解し、一人ひとりに合わせた関わりができるよう、ミーティング等を活用し、職員間で情報共有を重ねた。肯定的な言葉がけを日々心がけ、子どもたちの気持ちを尊重する保育を展開した。
保護者に対する支援	保護者様が安心できるように、日々の様子や体調等を丁寧に伝え、関わりを大切にしてきた。成長を共に喜び、悩みに寄り添い共感することで、信頼関係を育むことができた。保護者支援の一環として子育て支援にも力を入れて季節の行事を楽しむことができた。
保育を支える組織的基盤	保育の質向上に向けて、課題点や目標の共通理解を図り、全職員で同じ方向を向いて取り組んできた。また、個々のスキルアップに向けた研修等にも積極的に参加した。目標管理シート、キャリアアップシート、自己評価等で自己を見つめ、更なるスキルアップを目指した。

総評
保育理念、保育目標に合わせた指導計画のもと、安心・安全な保育を目指し取り組むことができた。 「子どもの最善の利益」を考えた保育について、研修や話し合いを重ね、一人ひとりに寄り添う保育を大切にしてきた。年間を通し食育活動にも力を入れ、食に関する興味や関心を深められた。保育と給食の連携の中で、心身の健やかな成長へと繋げることができた。次年度に向けても職員間で同じ目的意識を持ち、チームワークを大切にしながら、温かく寄り添う保育を展開していきたい。